

## 行仙宿の大掃除と迎春準備作業など

◇実施日：平成27年12月26日(土)～27日(日)

◇参加者：青木宏充、山口泰宏、鈴木貴宏、梶野照雄。(二泊二日)

26日：沖崎吉信、児嶋道夫、川島 功、橋本 梓、  
生熊敏男、生熊千満子、畑林秀味、畑林清子。

計12名

### 「日帰り組」 12月26日(土) 晴

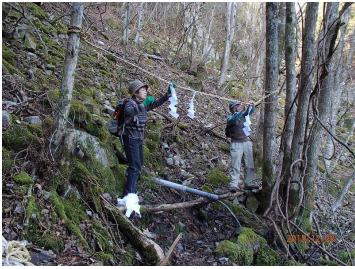
国道253号線からの林道には、所処に水溜りがあるが薄い氷が張っている程度で、大寒波は北陸・北日本以北の様で、予想した厳しい冷え込みは無かった。

水場2箇所の上りしめ縄(玉岡憲明氏が綯う)と生熊さん手製のシデ、購入の玄関しめ飾り・鏡餅、祝賀会のビール1箱と真砂氏寄贈の大吟醸酒1本、供え菓子等を手分けして背負い子などで担ぐ。

登山口水場の上りしめ縄は、生熊夫妻・川島で更新。



登山口で荷作り



登山口水場と行仙宿水場・しめ縄更新



佐田ノ辻の尾根に登るとやや風が強く、小屋前の温度計は1℃だが、体感温度が下がり一層寒く感じる。

直前になり賛同参加者が増え、手分けして作業が進められた。生熊・橋本・畑林氏の3人は、行仙宿水場・しめ縄更新に降りて下さる。

女性陣は、拭き掃除のお湯沸し後、行者堂内の掃除と鏡餅、お神酒、お供え取替の迎春飾り付け。川島は管理棟の玄関しめ飾りと室内掃除と迎春飾り付け、行仙宿内の迎春飾り付けは沖崎氏。児嶋氏は、ソーラーパネル点検後、小屋周りの落葉掃き掃除。

水場しめ縄更新班は、11時半前に戻り、橋本氏は脚立で行仙宿と行者堂玄関の上りしめ飾りを取付けて下さる。

11時過ぎに宿泊の4人が到着し、皆で床敷きカーペット類を戸外にて棒で叩いて埃を除く。長年の汚れの埃が見えるぐらい舞い上がり、冷たい北西風が遠くに吹き飛ばしてくれる。

その間、女性陣主体で床の雑巾拭きがなされ、キレイになったカーペットを敷き直し昼食。以後、宿泊組に報告に委ねる。

尚、水場上の材質場に被せていたシートが、先般強風でめくれ、梶野氏が修復して下さったが、下山時古いしめ縄を利用してシート下部を結わえて再発しないようにした。

### 行動タイム (26日日帰り組)

新宮 8:00→9:20 登山口 9:30→10:25 行仙宿 14:20→14:55 登山口 15:00→16:15 新宮。  
(記 川島)

### 「宿泊組」

12月26日(土) 晴

近畿北部に雪の予報が出ていたので、9時半の集合時間に余裕を持って午前6時に出発するが、天候は晴れ、伯母峰トンネルの気温も3℃で、道中雪は全くなし。

8時40分に池原スポーツ公園に着いた。鈴木さん同乗の青木車、山口さんも到着し、9時15分に行仙宿小屋へ向かう。

青木さんの提案で補給路登山口を過ぎ、5分程林道を奥に行つた浦向道を登る。補給路登山口には、川島、沖崎車がすでに駐車していた。



浦向道登山口で



急な階段を登り始める



2013年架設の木橋

10時15分、急な階段を登り始める。この階段はコンクリート製なので、足元が滑ることも無く、青木さんも安心だ。植林帯を過ぎ、自然林の大峯らしい尾根になり足も軽くなる。2013年に架設された木橋を過ぎると、補給路との三叉路もすぐそこだ。11時過ぎに行仙宿小屋に到着。敷物を外に出し、皆でたく。ものすごい量の土煙が、ちょうど強くなりだした西風に乗って流れていく。生熊、畑林さんが床を雑巾がけして下さる。参加者が増え、女性陣も加わっていたので、掃除がみるみるはかどった。12時過ぎから昼食。電子レンジ(青木氏寄贈)で温めたお弁当は、喜んでいただけたので設置した目的の一つ、寄贈が役立てられた。



床の敷物をたたく



昼食歓談中



26日の参加者

午後からは大掃除の続きの窓ガラス拭き、便所汲取りなどと、8月に切り残した荘川桜の頭上への杉斜木は、梶野・川島・山口氏で伐採する。

根クラ元から切り倒すと、荘川桜への被害が免れないと思われ、ハシゴの届く上部で先ず切除した時に、安全策として桜のフェンスの上にロープを張り、落下による被害を防ぐことにした。



ハシゴが届く上部で切断



安全策ロープで止まる



フェンスの補修



切除した先端部は、横に張ったロープでかるうじて止まり、荏川桜は無傷で、フェンス支柱が壊れた程度で済んだ。山口、鈴木両氏がすすんでフェンスの修理をして下さった。



日帰り組下山前に



下山



交換されたしめ縄

午後2時半前、日帰り組8名が下山。

鈴木、山口、梶野の3名で水汲みに降りる。水場から帰り、青木さんの要望で、流し場奥にコンセントを増設する。

午後4時半に作業終了。青木さんに用意していただいた「近江牛のしゃぶしゃぶ」の夕食が始める。室温は7℃だったが、ストーブと鍋料理のおかげで12℃まで上昇し、上着を着ていれば寒さは感じない。ビール、日本酒、焼酎、ウイスキーまで出て来て、就寝は午後10時30分だった。

暖をとる為、午前1時から2時間おきに薪を継ぎ足す。室温は11℃を保つことができた。

夕方5時から翌朝7時までで40本を越える薪を焚いた。



鈴木さん水汲み中



しゃぶしゃぶ準備



夕食後

### 12月27日(日)曇り時々晴れ

昨日の午後から強くなった西風は、朝になっても衰えを知らず、時折唸り声をあげている。午前7時30分、青木さん定番のサンドイッチで朝食、食後のコーヒーでまったりと過ごし、8時半から行動を始める。

青木、鈴木の名は先日の通信道補修の続き、山口、梶野は小屋で作業と別れる。山口さんは昨夜消費した薪の補給、梶野は管理棟内のコンセント設置作業を行う。午前10時30分、薪、コンセント設置作業共に終了し、小屋内を掃除機で掃除する。

梁の上を掃除し始めたが、掃除機を持ち上げていなければならず、1本目だけであきらめ、下からホースの届く範囲の掃除に切り替える。目に付いたクモの巣状のものは、ほとんど吸い取った。

床面も掃除機で掃除したので、この一年間では一番きれいな状態になっていると思う。

この状態を維持するために、行仙小屋に行くたびに、会友は発電機を動かして掃除機を使って頂きたいものである。(ちよっと面倒ですが)



クモの巣を吸い取る

床・敷物も掃除機で

宿内の迎春飾り

12時丁度に通信道作業班が帰着。冷凍のチャーハンをチンして、フライパンで卵を加えて昼食。

昼食後、毛布棚下の荷物を移動して掃除機をかけ、下山準備をして12時55分に小屋を後にする。青木さんは30cmほどの栓材1個を背負子に付けて降りるが、補給路と浦向道分岐まで来て重さに耐えかね、鈴木さんにバトンタッチ。



迎春飾りを囲み全員で

鈴木氏は青木さんの荷を

浦向道登山口到着

鈴木、山口氏の2名は補給路を、青木、梶野の2名は浦向道へと、分かれて下山することになった。  
浦向道分岐からだると20分足らずで下山できるので、ご両名には30分程待つて頂くことになると思っていたが、補給路登山口に到着してみると「45分待った」とのことだった。長時間待たせてしまつて申し訳ない。



管理棟内



行仙宿しめ飾り

### 行動タイム

12月26日(土)

池原スポーツ公園 09:15→10:05 浦向道登山口 10:15→11:10  
行仙宿(12:05 昼食 12:50)→16:30 作業終・夕食→22:30 就寝

12月27日(日)

起床 07:00→08:45 作業開始→12:00 昼食 12:55 行仙宿下山  
↓14:00 浦向道登山口→14:15 補給路登山口→15:00 池原スポーツ公園

(記 梶野)